

季節の変わりめです。  
体調に気を付けて。



止めましよう！  
テロも戦争も

日本共産党北区議会議員  
さがらとしこ  
区政レポート

日本共産党議員団

2022.9.15. NO.1888

御相談はお気軽に

TEL とも 3905-0970

FAX とも 3905-0970

さがらとしこ事務所

赤羽北3-23-17

バス停(赤羽北3丁目)メガシティ近く

# 山添 拓参院議員を迎えて おさそいあわせお出かけ 9/18@赤羽西口駅前トーク ご1時から始めます。



秋山  
けんたろうさん

山添  
拓  
参院議員

司会・進行は、区議さがらとしこ  
参加者の方からの意向やご意見もぜひ。  
なお、12時半～国華についての署名のびかけ  
シール投票もしますので、ご参加ください。



9月9日の夕、赤羽西口で

## 国華についてシールアンケート 賛成2人 反対33人

●岸田首相は、9月27日に安倍首相の国華をおまげ行く姿勢です。しかし、反対の高は高まるばかり。内閣の支持率は下がる一方、ついに逆転しました。  
●旧統一協会とのゆ着よりは、深刻です。



陸軍被服支廠のレンガの建物です。  
きっと、赤羽台にもあつたのだらう。



< 定例区議会 >  
傍聴をいただき、ありがとうございます。  
個人質問のやりとりは裏面に  
ご報告します。  
区議 さがらとしこ



路地ぞみつけたころの花。  
季節はようやく、秋の気配です。

## 秋山けんたろうの 区議会傍聴記

- 区議会本会議を傍聴しました。  
感じたことは、北区には課題が山積み。多くの方が安心して暮らせる街にしたいと思いました。
- 高齢者の補聴器助成について、北区は16区で実施していると認識。なら、一刻も早い実現こそ。
- さがらとしこ議員は、スターハウスのある赤羽台から、歴史を記録し発信するよう質問。ここに陸軍被服本廠がありました。現在は残っていません。  
広島市には被服支廠というレンガの大きな建物が残っており、実は先日、さがら区議とともに現地調査に行ってきました。原爆の爆風に耐えたレンガ造りの大きな建物は、貴重な「被爆遺跡」です。
- UR(旧公団)は、スターハウスのあるこの場所に来春、資料館を開設予定です。赤羽台では住宅建設が優先され、レンガの建物はありませんが、さがら区議は、「軍都から平和都市北区への歴史をここから発信を」と区長に求めました。
- 多くの方に赤羽台の歴史を知っていただき、平和であることの大切さを再認識してゆきたい。

## 暮らし・仕事・年金・法律など ご相談ください。

日本共産党北区議 さがらとしこ

社会保険労務士 秋山けんたろう

困ったら、☎/FAX 03-3905-0970

◆留守電の時は、お名前と電話番号をお願いします。  
後ほど、こちらからお電話します。

◇さがら事務所 〒115-0052 赤羽北3-23-17





本会議で質問する区議さがらとしこ

# 登録有形文化財 (2019年 令和元年12月5日) スタハウスのある場所から 「軍都」から平和都市への歴史と引き継ぐ 日本住宅文化の発信とUR(旧公団)とともに

赤羽台団地スタハウス周辺の  
遺跡発掘現場の見学会  
2021年2月13日(土)

スタハウス3棟と板状の棟  
(旧赤羽台団地 4号棟~44号棟)  
情報発信施設を来春5月頃  
開設予定のUR都市機構

※URは、戦後の高度成長期の日本住宅整備面から支えてきた。その象徴となるこの赤羽台団地の地。新しい暮らし方を提案するとくみみとするといふ。

の状態を写真などの記録として残しているのではないかと。ぜひ、北区として確認し、貴重な歴史として区民に公開するよう求めていたと区長に求めました。

③ いただいたご提案には、情報発信施設の展示や企画等と反映できるよう、区としてもURと、協議をすすめ、北区の新しい魅力の一つとして、積極的に広く内外に発信してまいります。

## 大規模住宅への高齢者の安全・人権尊重の緊急対策強化と求めました。

④ この中で、孤立死の発見に長い時間が経過している問題を指摘。北区の緊急通報システムの有効性について、利用者の「すぐに通事をしてくれるので、熱中症の危険を回避できた」などの声を紹介。さらに普及と定める必要性和、固定電話のみの対応となっているため、現状は携帯電話での利用ができない課題の改善策を求めました。



2022.9.15  
「さがらとしこ」レポート No.1888



※左図は当時の陸軍被服本廠の建物位置を示している。たぶんあり封。

4 2021年2月18日発行の「さがらとしこ」レポート No.1784の一部です。

## 学生とファミリー層の定住化のために

- ⑤ 経済的理由で学業を断念することがないよう、北区から奨学金ローン免除の実施を国に求めてください。
- ⑥ 学生が都営住宅に居住して、団地自治会のコミュニティ活動に協力する取り組みと、東京都がはじめてのことを紹介し、区内大学には協定参加をよびかけることを求めた。
- ⑦ 旧赤羽台東小跡地とUR用地活用で、300戸以上のマンション建設による、保育園、小中学校など教育環境整備について、要した。

## 被爆建物 A-bombed Buildings

被爆時の名称 広島被服支廠  
(爆心から5.2670m)  
この建物は、1945年(昭和20年)8月9日の被爆にも耐え、その後も今日に残っています。被爆直後は臨時事務所となり、活用してきた多くの被爆者が安々と生活していた。爆心からの方向に置かれていた建物で、被爆時の被爆状況が伝わる貴重な建物とされています。 広島市



陸軍被服廠(ひらくしょう)は、戦争が拡大する中、戦地に軍服や軍靴などを供給するため、本廠は東京に、支廠は広島と大阪に置かれました。  
・1887年(M20)、近衛工兵隊の大隊が大寺町から赤羽台に移転。  
・1919年(T8)、本所(墨田区)から赤羽に移転。  
◎本廠では、衣服などの開発・研究・教育もおこなわれていました。

さがら 北区は、広大な軍用地を解放させる、ねばり強いたたかひの歴史。「軍都」から平和都市へのまちづくりをすすめてきたこと。その貴重な歴史を刻む場所として、内外に広く情報発信する場とすることを求めました。もちろん、UR(旧公団)とともに。

再訪問 の中で、広島被服支廠の建物の現地調査を行ったこと。広島市では保存し、歴史と語りつぐ場とすることになっていること。そのため、北区中央図書館(レガ図書館)を参考にしたいと視察にいられていること紹介。さらに、

○赤羽台の被服本廠が解放され、住宅公園が日本一のモデル団地を建設する際、レガ建物